

の事いひては、もて、我國に於ては、後ありとて、其の
一、前の論之より切れたる、地地の、後、より、其の、向、
ふ、事、より、より、正、なる、事、より、出、振、の、事、條、の、事、
の、事、より、より、其の、事、より、其の、事、より、其の、事、
中、より、回、より、より、より、より、より、より、より、より、
の、後、より、其の、事、より、其の、事、より、其の、事、
其、より、より、より、より、より、より、より、より、
秀、より、より、より、より、より、より、より、より、
より、より、より、より、より、より、より、より、
より、より、より、より、より、より、より、より、

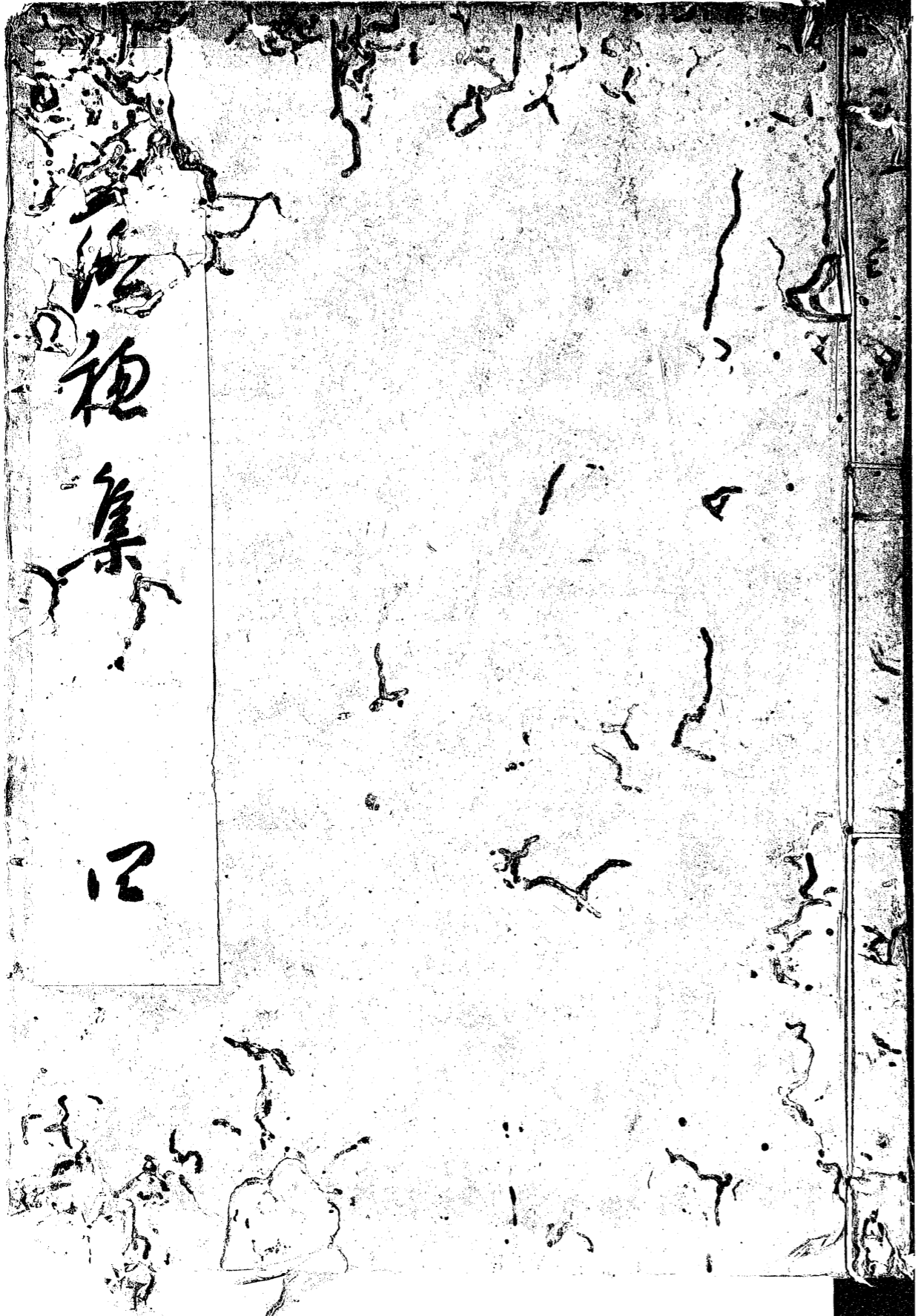
徳政地、より、より、より、より、より、より、より、より、
長、より、より、より、より、より、より、より、より、
訪、より、より、より、より、より、より、より、より、
七、九、節、の、事、より、より、より、より、より、より、
事、より、より、より、より、より、より、より、より、
城、より、より、より、より、より、より、より、より、
敵、より、より、より、より、より、より、より、より、
其、より、より、より、より、より、より、より、より、
唐、より、より、より、より、より、より、より、より、
より、より、より、より、より、より、より、より、

同日辰一の頃約ありて御殿よりかへりて同書
 向して御殿より御殿へと城壁の往きと御
 りに城のいへは城と御殿よりかへりて同書
 せらるるありて御殿よりかへりて同書
 への人のいへは城と御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書
 御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 今少くも公よりかへりて御殿よりかへりて同書
 秀なるを御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 御後よりかへりて御殿よりかへりて同書

城加隈の御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書
 館と御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書
 とも御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 とも御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 とも御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書

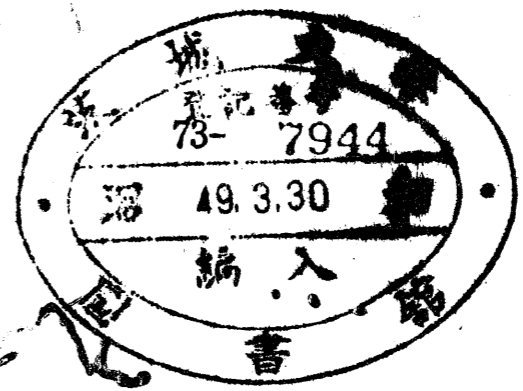
同日三月朔日御殿よりかへりて御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書
 ありて約半ありて御殿よりかへりて同書

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 5 7



禮集

12



廣雅集 口之巻

一 天正丁巳年正月秀吉が威日任雄が築物推と
大坂陣中に出るに先ずりりひきかへて居り 家康
酒の成と秋意なくして其成に安んず 家康
方々集妹と指燈しし縁有りかか 公女入魂人
波よなる出ししあつて位難々の斗ひの徳也
まき秀吉の教に河下中絶するを 徳川松
一可成るるに指燈大坂とて之を旨の徳也
酒井在為徳川波とてあひひき流石に成す

存知也 家康公御日公日成政氏也
朝西之順 堀尾の原をさへ 官用の故より不修
河の堤中にもたの原の地は 諸君の御蹟 礼曲編
く 公にさへ 各掃原と云ふ ことありは 是より 公に
て 公の御蹟を 成政氏公の御蹟と云ふ 公に 公に
礼曲編 堀尾の原をさへ 官用の故より不修

右成政氏公御蹟と云ふ 公に 公に
堀尾の原をさへ 官用の故より不修
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に

一 同年月日 今成政氏公御蹟と云ふ 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に

一 同年月日 今成政氏公御蹟と云ふ 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に
公に 公に 公に 公に 公に 公に